



HMC通信 創刊号

毎日うだるような暑さが続いておりますが、皆様お元気にお過ごしでしょうか？
平成 16 年 12 月に開院してから、いつかは当院もホームページを作りたいと思っておりましたが、この度ようやく実現することができました。このHMC通信では、季節に応じた健康に関する話題を中心に、最新のトピックス、健康診断や予防接種のお知らせ、気軽に読めるコラムなど、皆様のお役に立つ情報を発信して行きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

《お知らせ》

休日・夜間の電話診察



平成 17 年6月から「当院かかりつけの患者様」を対象に、休日・夜間の電話診察を行っております。電話で聴取できる情報には限界がありますので、申し訳ありませんが初診の患者様は対象外とさせて頂きました。サービスを開始して以来たいへんご好評を頂いておりますが、一方では「電話してもつながらなかった」とお叱りをうけることもあります。可能な限り 24 時間対応させて頂きますが、一刻を争う病状の場合は迷わず「119 番」へご連絡下さい。また、春日部中央総合病院（048-736-1221）は当院と病診連携をしている2次救急医療機関です。やむを得ない事情を除き、当院の患者様は優先的に診療してもらえることになっています。お問い合わせの際には、ご自身が「当院のかかりつけ」である旨を必ずお伝え下さい。

ちょっと面白い血圧のおはなし

食塩（ナトリウム）は諸悪の根源？

3億年前、人類の祖先は海から陸上へ上がってきたと言われていています。陸上では体液中のナトリウムが汗や尿からすぐに失われてしまう上に、海水中と違ってナトリウムの補給もきわめて困難でしたので、海水と同じ組成をもつ人間の体液を一定に維持するための（水とナトリウムをからだに蓄える）システムが必要でした。そこで創造主が作り給うたのが、レニン・アンジオテンシン系（RAS）とういシステムです。ところが人類は長い歴史のなかで、ごく最近になって食塩を欲しいときに欲しいだけ摂取できるようになりました。人類が地上で生き抜くために作られた精妙きわまりないシステムが、現代の人間にとって邪魔ものになるケースも出てきたのです。食塩摂取がきわめて少ないパプア・ニューギニアの原住民や、アマゾンのヤノママインディアンには、最近まで高血圧がみられなかったそうですが、近年の食生活の西欧化に伴って高血圧患者が現れるようになってきました。この事実から食塩の過剰摂取こそ諸悪の根源であると考えられるようになったのです。

～ 3億年前 ～



～陸上にあがり...その後～



(Medical Tribune 1999; 32 [43]: 8 より改変)

ニューオリンズ滞在記①

ジャズの聖地

ジャズ発祥の地、ニューオリンズ。アメリカ南部のルイジアナ州にあるこの町に、私は研究のため1年間留学していました。過去にフランスやスペインが植民地として統治していた影響で、今でも町のあちらこちらにヨーロッパ文化の面影を色濃く残しており、とても華やかで魅力的な町です。ハリウッド映画のロケーションにも度々使われるため、ご存知の方もいるかも知れませんね。しかし一方では、18~19世紀にかけてアフリカから奴隷として送り込まれた黒人が多く居住し、彼らに対する白人の厳しい人種差別が今も根強く残っているというネガティブな一面もあります。アメリカが生んだ20世紀最高の芸術とも言われるジャズは、彼ら黒人奴隷の奏でていた音楽が元になっているとされ、そこにカントリーやブルースなどの要素が少しずつ加わり、今のジャズに進化していったとされています。

1年間という短い滞在でしたが、私はこの町で多くのことを学びました。もちろん、研究以外のこともたくさん……。このコーナーでは滞在中のエピソードなどを交えながら、アメリカ南部の歴史と文化についてご紹介したいと思っています。乞うご期待下さい！

